

# 褥瘡の薬ってどんなものがあるの？

担当：薬剤科

当院で褥瘡の時に使用されるお薬です。薬によって効き目が異なっているため、適切に使用することにより、効果的に褥瘡の改善が得られます。気になることがありましたら、医師・薬剤師にご相談下さい。

## 1. 主に浸出液、感染、壊死組織が起きないようにする薬

### ゲーベンクリーム

細菌が増えないようにするので、感染をしやすい時期に適した薬剤です。  
使用する場合はできる限り傷口を清潔にし、壊死組織を取り除いてください。  
長期の使用は避けるようにして下さい。



### メイスパン配合軟膏

褥瘡面から出る細菌や真菌に対し強い殺菌力を持つため、感染しやすい時期に適した薬剤です。  
また傷を治すようにする効果があります。  
ヨウ素に過敏症のある人は使用しないで下さい。



## 2. 主に肉芽を作り、傷口を小さくするための薬

### フィブラストスプレー

傷を治す効果を高め、新しい血管を作り、肉芽を作るのを早めます。  
薬価が他と比べて高価となっています。



### オルセノン軟膏

肉芽を作るのを早める効果が強いです。  
さらに傷口を治すのを高め、新しい血管を作るのを早めます。



### アクトシン軟膏

傷口を小さくし治すのを早めます。さらに血流を良くし、新しい血管を作るのを早めます。  
肉芽や皮膚を作るのを早める効果もあります。



### プロスタンディン軟膏

皮膚の血流を増加させ、傷口が治るのを早めたり、新しい血管や皮膚を作るのを早めたりします。  
重篤な心不全のある人、出血している人、妊婦又は妊娠の可能性のある人は使用できません。  
1日に10gを超える量を使用してはいけません。



## 3. その他の薬

### アズノール軟膏

傷を治すのを早めます。  
炎症・むくみを抑える効果がありますが、効果が弱いため軽い褥瘡に使われます。



### サトウザルベ軟膏

傷口の引き締めや保護をする効果があり、炎症している皮膚面において炎症を抑えて傷を治しますが、作用が弱いため軽い褥瘡に使用されます



### イソジンゲル

傷の消毒に使われます。  
ヨウ素に過敏症のある人は使用できません。



# 褥瘡の薬の使い方は？

当院で褥瘡のときに使用されるお薬の一覧です。きちんとした用法・用量を守らないと、十分な効果が得られなかったり、副作用を起こしてしまったりすることがあります。

下記の用法を参考とし、医師の指示どおりに使用してください。

|   |
|---|
| <b>ゲーベンクリーム</b>   |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ 1日1回、清潔なヘラを用いて、傷口を覆うのに必要かつ十分な厚さ（約2～3mm）に直接塗るか、ガーゼ等に同様の厚さにのぼし貼り付け、包帯等で固定してください。</li><li>・ 2日目以降は、前日に塗った薬剤をきれいに拭くか温水浴等で洗い落とした後、新たに本剤を塗って下さい。</li><li>・ 他の薬と混ぜないで下さい。</li></ul>  |
| <b>メイスパン配合軟膏</b>  |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ 褥瘡面を清潔にした後、1日1～2回ガーゼにのぼして貼り付けるか、患部に直接塗り、その上をガーゼで保護してください。</li><li>・ 他の薬と混ぜないで下さい。</li></ul>   |
| <b>フィブラストスプレー</b>   |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ 褥瘡面をきれいに拭いたあと、専用の噴霧器を用いて1日1回、褥瘡の最大径が6cm以内の場合は褥瘡面から約5cm離して5回噴霧してください。褥瘡の最大径が6cmを超える場合は褥瘡面から約5cm離して同一の褥瘡面に5回噴霧してください。なお、周辺の正常な皮膚に付着した場合は、脱脂綿等でふき取ってください。</li><li>・ 1日の投与量は2本（1000μg）を超えないようにしてください。</li><li>・ 溶解後は10℃以下の冷暗所に保存し、2週間以内に使用してください。</li></ul> |
| <b>オルセノン軟膏</b>  |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ 褥瘡面をきれいに拭いたあと、1日1～2回ガーゼなどにのぼして貼り付けるか、患部に直接塗ってください。</li></ul>  |
| <b>アクトシン軟膏</b>  |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ 褥瘡面をきれいに拭いたあと、1日1～2回ガーゼなどにのぼして貼り付けるか、患部に直接塗ってください。</li></ul>  |
| <b>プロスタンディン軟膏</b>   |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ 褥瘡部の周りから褥瘡部にかけて消毒・清潔にした後、1日2回、適量をガーゼなどにのぼして貼り付けるか、褥瘡部に直接塗り、ガーゼなどで保護してください。</li><li>・ 副作用を起こすことがあるので、原則として、大量に（1日10gを超える）使用しないで下さい。</li><li>・ 褥瘡面の出血が強まったときはこの薬の使用を中止してください。</li></ul>   |
| <b>アズノール軟膏</b>  |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ 症状により、適量を1日数回塗ってください。</li></ul>   |
| <b>サトウザルベ軟膏</b>   |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ 症状に応じて1日1～数回、患部に塗りつけるか、貼り付けてください。</li></ul>   |
| <b>イソジンゲル</b>   |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ 目に入らないように注意してください。入った場合には、水でよく洗い流してください。</li><li>・ 石けん類はイソジンゲルの殺菌効果を弱めるので、石けん分を洗い落としてから使用してください。</li></ul>  |

